



「学校教育目標」  
 絆を深め、地域社会に貢献  
 できる生徒の育成  
 ○自ら学ぶ ○思いやる  
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

無限の才能を感じさせてくれた文化祭

9月14日（土）、午前中に学校公開並びにPTAバザー、午後に文化祭を実施しました。生徒は、午前中に普段より緊張した授業。午後は楽しみいっぱいの文化祭と、昼食の時間を挟んで趣の違う一日となりました。保護者並びに地域の皆様におかれましては、ご多用の中、多数ご参会いただきありがとうございます。また、小川町長 松本恒夫様、小川町教育委員会教育長 小林和夫様、小川町議会厚生文教常任委員会委員長 田中照子様をはじめ、多数のご来賓の皆様においでいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

午前中の学校公開（授業参観）では、授業に取り組む生徒たちの姿を参観していただきました。いかが感じられたでしょうか。参観者の存在には目もくれず学習に取り組むクラス。参観者の目を気にして落ち着かないクラス。いいところを見せようと妙に張り切るクラス。そんな違いも感じていただけたのではないのでしょうか。

午後の文化祭では、大慌てで座席を追加するほどの大盛況でした。オープニングのコントでは、これから始まる文化祭の盛り上がりを感じさせる、気持ちの良い笑いを提供してくれました。開会の言葉（2年）の後、実行委員長（3年）の言葉に「全力で楽しみ、笑顔があふれる素晴らしい文化祭にしましょう」とありました。全員の目標が再確認されました。



爆笑コントでオープニング



実行委員長が目標を確認



堂々のスピーチで聴衆を魅了

いよいよステージ発表。緊張するトップバッターは、明日(9/19)開催される比企地区英語弁論大会の学校代表（3年）の英語スピーチ。身振り手振りを交えて表情豊かに将来の夢「声優」に向けて努力していく決意を英語で語ってくれました。聴衆を引き込む何とも言えない迫力を感じました。ALTのオカダ先生も絶賛していました。

続いて吹奏楽部の演奏。この日のステージを最後に、3年生は引退となります。少ない人数ながら西部北地区音楽会で優秀賞を獲得した、その力を思う存分発揮してくれました。指揮者なしでの演奏です。いかにお互いの気持ちを一つに演奏していたか、固い絆を感じることができました。体育館を感動の渦に巻き込む素晴らしい演奏でした。藤野先生と佐藤先生も加わっての演奏、生徒総立ちのアンコール。前号で紹介した「努力の正解を見つけろ」。まさに、そんな有終の美だったと思います。



部員と顧問の「絆」も感じられた素晴らしい時間でした。

最後は、有志発表です。6組の個性あふれるアーティストたちが素晴らしい才能を惜しみなく発揮してくれました。文化祭を盛り上げようという共通の「思い」で結成し、夏休みお互いの都合を調整しながらゼロから積み上げてきた努力の跡が見て取れました。「この子たち、時には言い争ったり、なぐさめ合ったりして、今日の晴れ舞台を迎えたんだろうな……。いろんなドラマがあったんだろうな……。」そう考えると胸が熱くなりました。また、習い事などを通して鍛え抜かれたトップパフォーマンスは、中学生の無限の可能性を感じさせてくれました。きっと血のにじむような努力があるんだと思います。その姿を見ることで多くの生徒が勇気をもったと思います。福島先生、小出先生のサプライズ参加も会場を盛り上げてくれました。



ステージも観客も盛り上がった有志発表



司会進行の3年生2名、ハプニングがあっても、臨機応変で素晴らしい進行をしてくれました。また、会場の生徒の皆さんもみんなで場を盛り上げてくれました。檯台中の優しさを感じました。照明も実行委員が担当しました。地味な仕事ですが、なくてはならない仕事。しっかりやり遂げてくれました。プログラムの表紙を飾った2年生が描いたイラストも素敵でしたね。

実行委員長の言葉にあった「全力で楽しみ、笑顔があふれる」という目標は、生徒の皆さんの素晴らしい笑顔をたくさん見られたことで、十分すぎるほど達成できたと思います。

この文化祭終了で、生徒会本部役員の仕事に一区切りがつきます。1年間生徒会を支えてくれた本部役員の皆さん、本当にありがとうございました。また、この文化祭を成功に導いてくれた実行委員の皆さん。皆さんの献身的な取組で素晴らしい文化祭となりました。ありがとうございました。バザーにご協力いただきましたPTA役員の皆様、前日準備から当日の販売までご協力ありがとうございました。ご多用の中、足を運んでくださった地域の皆様、熱心に子供たちの作品にも目を通していただきありがとうございました。多くの皆様に支えられて、大きな成功を収めることができました。ありがとうございました。

入念な準備のお陰で、大きな混乱もなく大盛況だったPTAバザー



## PTA人権教育講演会(9/9)

こどもの心ケアハウス嵐山学園長の早川 洋先生を講師にお招きして、PTA 人権教育講演会を開催しました。専門的な見地からのお話で、発達障害（発達特性）について詳しくお話いただきました。早川先生のお話の中に「正しい理解が人権を守ることにつながる」とありました。日本では「ふつう」が生きやすい環境になりがちで、個々の発達特性によっては、その「ふつう」が生きづらさになっている。「多様性への寛容」が人権擁護につながるというお話にも興味深かったです。人はつい自分中心に考えてしまい（多様性の否定）、周りの人を受け入れられなくなる傾向があります（寛容性の欠如）。これは、子供同士ではもちろんですが、家族や教師などを含めた大人と子供との関係の中にも生じます。正しい知識を持ち、お互いの特性を理解することで気持ちのよい、誰もが居心地のよい関係が築けます。保護者の皆さんがご家庭で何気なく子供たちに聞かせている話。我々教師の生徒へ投げかける一言。このなかに、人権を否定するような表現が含まれているとすると、それを聞いた子供たちは、それがあたかも正しいかのように錯覚してしまいます。まずは、大人の意識を変えていくことが大切だと感じました。

難しい内容も多かったですですが、保護者の皆さんも真剣に耳を傾けていました。



授業参観・文化祭を含め（それ以外でも）お気づきの点がございましたら、校長室ポストにご意見をいただけますと幸いです。地域の皆様のご意見や感想も大歓迎です（FAXや郵送、お近くの方は直接郵便ポストにポストインしてください）。

【FAX：74-1102 住所：〒355-0316 角山1192】

キ リ ト リ

【校長への通信欄】 9 / 1 8

氏名 ( )